

種目別手引き

ボールパスラリー 2

：バレーボールでパスを行い、失敗しないで何回パスができたかを競う。

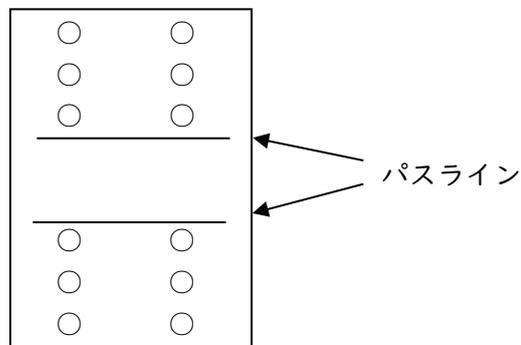
(1) 準備する物

- ・ソフトバレーボールまたはバレーボール

(2) 事前の準備

- ・パスラインとなる2本の線を引く。

小学校	中学年	2 m 間隔
	高学年	2 m 間隔
中学校		3 m 間隔



(3) グループの編成

- ・3人以下の学級は1つのグループで実施するが、4人以上の学級は1つのグループ、または、複数のグループを編成して実施することができる。
- ・1人の学級は異学年の児童・生徒を加え、2人で実施する。

(4) やり方

- ・各グループほぼ半数となるように分かれ、パスライン後方に縦1列で向かい合って並ぶ。
- ・オーバーハンドパスやアンダーハンドパスを使い、ボールを落とさずに連続何回パスできたかを数える。
- ・パスした者は、同じ列の最後尾に並ぶ。(2人で行う場合は移動を行わない。)

(5) ルール

- ・パスライン内でパスはしてはいけない。ただし、相手のボールが届かなかった場合、ラインの外からラインの中に入ってパスをした場合も、パスの回数に入れることができる。
- ・パスをする2人以外はボールに触れてはいけない。壁などの障害物に当たった場合はそこで終了とする。
- ・パスはオーバーハンドパス・アンダーハンドパスどちらを使っても構わない。片手でボールを送った場合もパスの回数に入れることができる。ただし、一人が2回以上続けてボールに触れた場合はそこで終了とする。

(6) 記録と参加人数

- ・1つのグループで実施した場合は、そのグループが捕球した回数を記録とする。
- ・複数グループをつくって行った場合は各グループの捕球回数の合計をグループ数で割り、その平均回数を記録とする。平均回数が小数となった場合は、小数第3位を切り捨て、小数第2位までとする。
- ・複数のグループで実施した場合、実施日はすべて同じでなければならない。
- ・参加人数はグループの児童・生徒の合計とする。
- ・異学年の児童・生徒と行う場合は、記録の申請は上の学年で行う。